

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和7年12月12日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾 病		疫学週			
		46週 11月10日～11月16日	47週 11月17日～11月23日	48週 11月24日～11月30日	49週 12月1日～12月7日
イ感新～急 ン染型A性 フ症コR呼 ル口I吸 エナ～器 ンザ ウイルス	急性呼吸器感染症(ARI)	935 187.00	1068 213.60	758 151.60	656 131.20
	インフルエンザ *	310 62.00	510 102.00	308 61.60	193 38.60
	新型コロナウイルス感染症 *	17 3.40	18 3.60	9 1.80	12 2.40
小児科定点	RSウイルス感染症 *	1 0.33	1 0.33		
	咽頭結膜熱 *		1 0.33		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	9 3.00	3 1.00	6 2.00	14 4.67
	感染性胃腸炎				
	水痘		1 0.33	1 0.33	
	手足口病				
	伝染性紅斑	1 0.33		1 0.33	
	突発性発しん	2 0.67	2 0.67	1 0.33	
	ヘルパンギーナ *				1 0.33
眼科定点	流行性耳下腺炎		1 0.33	1 0.33	2 0.67
	急性出血性結膜炎				
基幹定点	流行性角結膜炎		2 2.00		
	感染性胃腸炎(口タウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎	5 5.00	5 5.00		2 2.00
拡張疾患	無菌性髄膜炎				1 1.00
	マイコプラズマ肺炎(小児科)	10	9	2	4
	川崎病	1		1	
不明発疹症	不明発疹症	1			

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	◎	○	—
備考	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、ー:対応無し

【医療機関の皆様へ】

- 感染症法に基づく、アカウント発行 システムログイン
- 医師の届出に必要なアカウントの発行及びシステムのログインは
こちら



【全数報告疾病】※栗原支所管内

- 4類:E型肝炎 男性1名
- 4類:つが虫病 女性1名

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- インフルエンザの患者報告数は減少したものの、依然として多い状況が続いています。患者からはAH3亜型が検出されています。
- 今後の動向に注意し、引き続き、咳工チケット・換気・手洗いなどの基本的な感染対策を心掛けましょう。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- 新たに保育施設でインフルエンザの集団発生がありました。

【感染症コラム～E型肝炎～】

- E型肝炎ウイルス(HEV)を原因とする急性肝炎で、ウイルスに汚染された水や加熱不十分な動物の肉や内臓の喫食で感染します(経口感染)。妊婦が感染すると劇症肝炎(肝機能が著しく低下する重篤な状態)となる割合が高くなります。
- 豚や牛の他、鶏、犬、ラット、ニホンザル等多くの動物がHEVに感染します。国内では、イノシシの生レバー喫食が原因とみられる死亡例や豚レバー、野生のシカ肉などの喫食による感染例が報告されています。
- 潜伏期間は15～50日程度(平均約6週間)と長く、発熱、悪心、食欲不振、腹痛、褐色尿と強い黄疸を呈します。多くは約1か月程度で自然治癒しますが、稀に劇症化し死亡することがあります。
- 治療は対症療法のみです。(劇症肝炎は別治療の適応となります)
- E型肝炎は経口感染の他、便中に排出されるウイルスが原因となる糞口感染もあります。
- 予防として、流水と石けんによる手洗いや中心部まで十分に加熱処理された肉等を摂取するよう心掛けましょう。

【お知らせ】

- 栗原支所管内でインフルエンザによる集団発生の報告が続いています。自所属の感染対策として、手洗いチェックやCO2センサーの活用はいかがでしょうか。
- 施設等を対象に貸出を行っておりますから、御活用ください。
- 貸出について、右記QRコードから確認できます。



大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
0228-22-2117 0228-22-7594